



馬の学校通信

2022. 9 vol.87

発行 馬の学校

事務局 千葉県北杜市大泉町西井出 3197-3-203 TEL/FAX : 0551-30-4397

E-mail : umanogakkou@yahoo.co.jp ホームページ : <http://www.horseschool.org>



再び ドイツへ (うまエッセイ 14)



2005年の冬、馬と子どもとのかわりをさらに学ぶために、再びドイツへ行きました。8年前に訪れた施設「ラファエルハウス青少年支援センター」に1週間ほど滞在し、残りはドイツ国内の「子ども農場」と呼ばれる馬やいろいろな動物がいる遊び場を訪問してまわりました。馬の学校を始めて5年、様々な課題も増えてきたところで、前回とは違う視点で見たいという思いがありました。支援センターでも子どもたちの置かれている状況には変化があり、虐待を受けたり発達障害の子どもたちの割合が増えたとのことでした。また、この時に訪問した中の一つ、「プレーメン子ども農場」では、スタッフの方にもいろいろとお話を伺うことができました。そこでは午前中は学校単位での利用ができ、午後からは学校を終えた子どもたちが来て自由に遊ぶことができます。中でも毎日ある乗馬レッスンは大人気。さらに週に1回は、発達障害などの子どもたちを対象に小グループでの乗馬レッスンも行っているとのこと。「自分自身の身体と心の頭とよい関係を築くことができはじめて、他者ともよい関係を築くことができる」とおっしゃっていたことが印象的でした。

日本ではまだまだ「なぜ馬なのか？」といったことが問題になりますが、ドイツでは馬がごく自然に教育の中に取り入れられているという印象を受けました。おもちゃ屋さんにはたいてい馬グッズコーナーがあり、本屋には、子ども向けの馬の雑誌や、乗馬クラブなどを舞台にした読み物がたくさんあるのです。馬にかかわる背景の違いを強く感じましたが、馬とのふれあいがもたらすさまざまな可能性を教育に生かす考え方や方法に、学ぶべき点は多くありました。

また、この時に軽乗鞍を購入し、登山用リュックに入れて持ち帰ってきました。ドイツではお手頃価格から本格的なものまで揃っており、当時の金額で何と15000円！このお陰で、プログラムの幅が広がり、ミルクキーのプログラムでも欠かせないものとなっています。夏前について腹帯が切れてしまいましたが、修理をお願いしたらとてもきれいになって戻ってきました。まだまだこれからも活用できそうで、ホッとしました。



おすすめの本

『くらやみに、馬といる』河田 棧 カディブックス

与那国島で馬のカディと暮らす河田棧さんによるエッセイ。夜の時間を、森に居る馬たちと過ごす中で感じたことが綴られています。ヒトの世界から馬の世界へ、光の世界から暗闇の世界へ。「あかるい場所になじめなかったり、異種の生き物に近しさを感じる人は、きっと私のほかにもたくさんいるでしょう。あなたと私のくらやみは違うものですが、でも、境界のないくらやみのこと、もしかしたらどこかでひそやかな小道が繋がっているかもしれません。」あとがきより抜粋



今月のミルクキー

えっ、ばく何もしてないよ



シャワー後でおじさん風(笑)



脱走未遂の証拠写真！

活動報告

にんじんを育てて馬にあげよう(7/3、7/30)

7/3は1回目の収穫を、7/30は2回目の種蒔きを行いました。ご家族で、大人の方、お子さんだけでなど、様々な方の参加がありました。午前中は白倉農園にて農作業+α。7/3は白倉農園産の小麦を使ってうどん作り、7/30は竹を切るところから始めて流しそうめんを楽しみました。午後はファナウステーブルに移動して、ミルクィのお世話体験+引き馬乗馬。白倉農園でも使っているボロ(うんち)を取り、ブラシをかけ、軽乗鞍をつけての引き馬乗馬を行いました。ボロを通した循環の仕組みも、楽しく学ぶことができました。



サマーホーススクール in ファナウステーブル

5日でのべ54名の子どもたちが参加してくれました。まずはミルクィにあいさつをしてから、グループでの馬小屋掃除や放牧場の掃除、そしてエサ作り。お互いに協力して頑張る姿が見られました。その後、ミルクィとパピコ(ファナウステーブルのお馬さん)にブラシをかけて、スタッフが引く馬に乗りました。乗り終わって、馬たちにふすま水をあげる頃には、馬ともお友だちともすっかり仲良しに。最後にワークシートを完成させて、お土産の蹄鉄を磨いて終了です。でも多くの子どもたちがミルクィと離れがたく、なかなか帰りませんでした(笑)



編集後記

前回通信をお送りしたときは、なかなか見通しが持てずにいましたが、そんな中で考え出したサマーホーススクールの企画。地域の子どもたちにも、馬とのかわりを体験してもらいたいという思いで、教育委員会の後援を得て小学校にチラシを配布しました。すると、なんとほぼ北杜市内の子どもたちで定員が埋まり、ミルクィの周りでたくさん笑顔とチャレンジが見られた5日間となりました。その後、他のプログラムに参加してくれたり、ミルクィフレンズや乗馬クラブのキッズクラブに入会する子どもたちもいて、定期的にかかわることにもつながり嬉しい限りです。

娘は、夏休み返上でずっと手伝ってくれて、大助かりでした。学校のお友だちが参加してくれた時はとても嬉しそうで、ミルクィの魅力をたくさん伝えてくれました。秋になって、やっと乗馬の練習も再開し、ポニー検定3級を取得！馬の世話や準備も一人でできることが増え、ますます頼もしくなっています。(峯崎友香理)

参加者募集中

にんじんを育てて馬にあげよう・収穫編

日程：10月9日(日)10時~15時30分

内容：にんじん収穫、お野菜収穫、昼食作り

馬のブラシがけ、放牧場のそうじ、

引き馬での乗馬体験、にんじんあげ

場所：白倉農園(北杜市高根町村山北割3107)

乗馬クラブファナウステーブル/定員：10名

参加費：小学生以上5,000円 小学生未満4,000円

大人のためののんびり乗馬体験

日程：10月17日(月)10時~12時

内容：ブラシがけ、引き馬(馬を引いて歩く)

裸馬体験、にんじんあげ

定員：5名 参加費：1人¥6,000

ポニー検定5級取得コース(3日間)

日程：12月までのご希望の土日・10~12時

内容：ブラシがけ、馬小屋掃除、引き馬乗馬、

引き馬(馬を引いて歩く)にんじんあげ

*最終日に検定を行います

参加費：ご希望の3日間で16,500円(ポニー検定詳細はこちら→)

ポニー検定詳細はこちら→



*2日前までにお申し込み下さい

*お申込みはメール、お電話(090-9867-5611)にて

***上記以外の土日祝は、引き馬乗馬(予約不要)、お世話体験+引き馬乗馬(前日までに予約)、を行う予定ですが、変更の可能性もありますので、Instagram、FB等でご確認下さい。**